

令和5年度

宇治市社会福祉協議会（コラボネット宇治）

事業計画

～支え合い、助け合い、励まし合って、つながる福祉～

社会福祉法人 宇治市社会福祉協議会
（コラボネット宇治）

目 次

令和4年度の事業のふりかえりと令和5年度の事業方針……………2

第1章

「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア
活動の推進 ……………4

第2章

各種相談からの生活課題、地域福祉課題の把握と解決……………6

第3章

法人運営及び財務運営の強化……………7

令和4年度事業のふりかえりと令和5年度事業方針

1. 令和4年度の事業のふりかえり

以下の4項目を重点項目として取り組んできました。

- (1) 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定
- (2) 「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進
- (3) 各種相談からの生活課題と地域福祉課題の把握と解決
- (4) 法人運営及び財務運営の強化

(1)については、

策定に対して、普段の業務から宇治市内のコロナ禍における生活状況、令和2年度に実施したアンケート、地域福祉活動における現状とこれからめざすことをまとめています。次年度以降の地域福祉の支援に活かしていきます。

(2)については、

コロナ禍で、一堂に会することの難しさや、人とのつながりが途切れてしまう危機感・不安感を解消する方法として、各地の学区福祉委員会では、地域の高齢者等が身近な集会所等、これまでよりも集まりやすい範囲で顔を合わせる機会づくりの工夫をするなどされています。これまで「小学校区」や「宇治市全体」を一つの単位とした活動が行われることが多くありましたが、コロナ禍の密を避けることや、遠くまで行くことが難しい高齢者の身近な出先として、より小さな生活圏域での取組みが展開されています。

また、小学校区や自治会・町内会の範囲での住民による語り合いの場づくりを重ねることで、地域の関心ごとの共有や住民の「やってみたい」の思いを具体化する取組みを進めました。

宇治ボランティア活動センターが取り組む生活応援隊など、「個別ニーズに対応した取組み」も依頼件数が多くなっています。

(3)については、

令和2年3月25日から令和4年9月30日まで実施された失業休業対策の、緊急小口資金特例貸付、総合支援資金特例貸付をはじめ、令和4年7月に決定した京都府の物価高騰対策緊急生活支援事業に対応してきました。これらの状況から、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて生活困窮の状況に陥っている世帯の多くが、「困っている」としつつも、制度につながりにくい実態も明らかになり、また、そのことを踏まえての特例貸付の償還の相談につなげるなどの支援を行っています。しかしながら、制度施策の活用が難しい状況にある世帯も多くあります。

福祉サービス利用援助事業では、世帯丸ごとの支援が必要なケースや、ヤングケアラーへの支援の一つに当事業が活用されています。特に、これらの世帯では、制度や施策だけでは「世帯丸ごと」を支えることが難しいため、関係者の連携と協働による幅広いサポートが欠かせません。

これまで「生活困窮」とは結び付いていなかった、当会の取組みや、NPO 法人等との連携の中でも、生活困窮や社会的孤立の相談を受ける場面があり、そのようなニーズに対応するべく、コミュニティソーシャルワーカーの配置の必要性を行政にも働きかけてきました。

(4)については、

職員研修による資質向上や衛生委員会の設置による働く環境づくりの強化を行いました。財務運営においては、コロナ禍での会員募集等や自動販売機の設置による、活動財源づくりが依然厳しい局面にあります。社協だよりも適宜寄付の状況を掲載し、広く市民に呼び掛ける工夫も行ってきました。引き続き、会員募集の呼びかけ先の拡充と支出抑制の必要があります。

2. 令和5年度における重点取組み

以上のふりかえりをもとに、下記の点に重点を置き、取り組めます。

(1) 「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進

宇治市の地域福祉を支える基盤ともいえる、学区福祉委員会や当事者団体の会員数は減少しています。団体の所属の有無を問うことなく、制度施策が充実してきたところではありますが、活動の担い手不足や会員減少は共通課題となっています。

その中で、団体が育ててきた地域福祉の考え方や、制度施策だけでない暮らしの一助に目を向け、その大切にしてきたことを伝え、関心を寄せる人を増やすための取組み、団体の支援を行います。

(2) 各種相談からの生活課題や社会課題の把握と対応

コロナ禍で、より浮き彫りとなってきた生活困窮等から連なる様々な個別課題への対応など、これまでよりも、より柔軟な地域福祉活動の視点と取組みが必要となっています。

寄せられる相談に対して、相談者が抱えている生活不安を社会ニーズとして明らかにするとともに、相談者自らの意志や決断を発揮できるよう寄り添い、制度や他の相談窓口につなげます。また、その不安解消に適した地域福祉活動やボランティア活動等への取組みにつなげます。

(3) 法人運営及び財務運営の強化

地域福祉を展開していくために必要な財源基盤の強化として、会員募集運動の強化や自動販売機の設置拡充を図るとともに、遺贈、寄付の積極的な受入れや助成金の活用など、新たな財源確保に取り組めます。

【アイコン表示について】各活動の財源が分かるアイコンを表示しています。

宇治社協

会費収入等の独自財源、基金の運用益を元にして実施する事業に表示。

赤い羽根

赤い羽根共同募金の配分金で実施する事業に表示。

歳末募金

歳末たすけあい募金の配分金で実施する事業に表示。

利用負担

参加者や利用者からの負担金により実施する事業に表示。

補助委託

宇治市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業に表示。

第1章 「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進

様々な生活不安や寂しさを抱えている人を見守り、孤立させない地域づくりを進めるためには、従来の支える側、支えらえる側という形に捉われず、常に地域住民の関心事や不安を抱えている当事者の思いを共有しながら、地域の中での「共感」を高め、多様な住民が参画できる場づくりが必要です。当会として、その共感の場づくりを意識しながら、各種の地域福祉、ボランティア活動への支援に取り組みます。

(目標と実施する取組み)

1. 学区福祉委員会等住民主体による活動への支援

宇治 補助 赤い 歳末
社協 委託 羽根 募金

目 標／学区福祉委員会等の住民主体による小地域福祉活動への助言や協働を通じて、それぞれの地域に即した地域福祉の拡充を進めます。

取組み／住民向け企画や研修会の協働を通じた学区福祉委員会等の活動支援
木幡学区での、住民交流拠点の継続開催（～コラボプラザ～「ふらっとこはた」の取組み支援）

学区福祉委員会連絡協議会の運営支援による学区福祉委員会活動の拡充

2. 多様な住民の語り合いの場づくり

宇治 補助
社協 委託

目 標／身近な関心事や不安を抱えている当事者の思いを共有できる場づくりを通じて、多様な住民の参加、参画を進めます。

取組み／小学校区を基盤に、多様な住民が思いを持ち寄り、学び合い、共に取組みを進めていける場づくり

3. Hot!ふれあいサロン活動への支援

補助 歳末
委託 募金

目 標／Hot!ふれあいサロン（以下「サロン」）活動を通じた、身近な人と人とのつながりを絶やさない取組みを支援します。

取組み／市内のサロン活動のネットワークづくりとサロン交流会・研修会の実施
参加希望者との調整や活動者への情報提供
新たなサロンの立ち上げ支援

4. 宇治ボランティア活動センターの運営支援によるボランティア活動の拡充

宇治 補助
社協 委託

目 標／市民主体によるセンター運営への支援を通じ、ボランティア活動の拡充を図ります。

取組み／市民との協働によるボランティア活動センターの運営
広く市民がボランティアに参画できるきっかけづくりやコーディネート

5. 加入団体と連携した宇治市災害ボランティアセンターの運営 補助 赤い
目 標／日常の延長上にある「災害時」を意識し、災害時にも強いまちづくりに寄与します。
取組み／総会や訓練、運営委員会において災害時を意識した「日常の関係づくり」の構築

6. 当事者団体の支援を通じての地域生活支援 赤い 補助
目 標／当事者団体による情報発信が、より広く市民に伝わるよう広報します。
多様な住民に当事者の思いを伝えることができる場づくりを支援します。
取組み／共同募金委員会や市の助成金等を媒介にした当事者団体の運営相談支援
当事者団体の現状を把握、関係機関や関心のある人を増やす支援、取組みの実施
宇治市介護者家族の会と連携した在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施

重点項目

7. 生活支援体制整備事業を通じての対話と協働による地域福祉の推進 補助 委託
目 標／地域課題の発掘と解決に向けた学び合いの場と取組みの創出
取組み／宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第1層）の運営
宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第1層）の構成団体との懇談や課題共有
小地域を基盤とした宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第2層）の拡充

8. 地域つながり活動支援事業への取組み 補助 委託
目 標／人と人との関わり方が変化している中での地域課題の変容に応じた取組みへの
支援を通じて、地域共生社会の実現に努めます。
取組み／多様化する地域課題の解決に寄与する事業への助成

9. 住民参加型による一般介護予防事業介護予防普及啓発事業の展開と地域づくり 補助 委託
目 標／誰もが健康寿命を伸ばし、地域で孤立せず暮らしていけるよう、健康づくりを介して
の住民参加の拡充を図ります。
取組み／週1回、20小学校区での介護予防普及啓発事業の取組み実施
健康づくりに関するボランティア研修会の実施

10. 若年層への福祉教育の実施 補助 委託
目 標／京都文教大学の授業を通じて、ボランティア活動への参加のすそ野を広げます。
取組み／ボランティア活動団体や福祉施設との協働による京都文教大学ボランティア演習を
通じた、大学生のボランティア活動の受入れ

赤い 補助 歳末 利用
羽根 委託 募金 負担

11. 福祉関係者とともに宇治市の福祉の機運を高めるための宇治福祉のつどいの開催
目 標／福祉活動参加者への敬意を表し、また、地域課題の提起を図ります。
取組み／長年、地域福祉やボランティア活動に貢献されてきた方の表彰
福祉関係者とともに、地域課題の共有を図る講演会等の実施

12. 福祉専門職や福祉事業に関わる人たち、社会福祉法人等との連携強化 宇治
社協
- 目 標／社会福祉法人等と地域課題や法人を取り巻く課題を共有し、解決策を探ります。
- 取組み／地域住民と社会福祉法人や福祉専門職の持つ力や資源を生かし、対話と協働による地域課題の把握や解決
- 赤い
羽根 歳末
募金 利用
負担
13. 他機関との連携による子育て世代への働きかけと地域福祉活動へのきっかけづくり
- 目 標／NPO 法人等と連携し当事者の視点を大切にしたい子育て世代とのつながりづくりと子育てを通じて参画できる地域福祉活動の場づくりを進めます。
- 取組み／NPO 法人等と連携した子育て支援事業の展開
中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業
14. 高齢者の健康と生きがいづくりを通じた老人福祉センターの運営 補助
委託
- 目 標／高齢者の健康や生きがいづくりのための社会参加の機会を創出します。
- 取組み／宇治市老人センターサークル協議会 (USK) 事務局の運営
館外研修、クリーン運動等の実施、サークルの発表の場の提供
15. 障がいのある人の社会参加の支援 補助
委託 利用
負担
- 目 標／障がい者の社会参加の機会を創出します。
- 取組み／身体障がい者デイサービス事業の実施

第2章 各種相談からの生活課題、地域福祉課題の把握と解決

相談者自らの意志や決断に寄り添い、制度や専門窓口、当会の強みである地域福祉活動やボランティア活動へのコーディネート力を生かした相談支援を展開します。

1. ボランティア相談の実施 補助
委託 宇治
社協
- 目 標／相談や活動先の調整を通じて、ボランティア活動に主体的に参加する人を増やす。
- 取組み／ボランティア相談や各種調整を通じて、活動参加へのきっかけづくりを行います。
2. ふれあい福祉センター相談事業の実施 補助
委託 宇治
社協
- 目 標／生活課題の把握と解決のための寄り添いのある支援を行います。
- 取組み／福祉なんでも相談の実施
専門相談(社会保険、多重債務・成年後見、登記、法律)の実施
3. 貸付相談及び生活相談(物資配布含む)の実施 補助
委託
- 目 標／貸付相談から見える生活課題を把握します。
- 取組み／くらしの資金の貸付、生活福祉資金の貸付、償還相談
新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の償還に係る生活相談対応
貸付相談から見える、生活困窮世帯に対する物価高騰対策緊急生活支援

重点項目

4. 福祉サービス利用援助事業の展開と成年後見制度利用促進法による支援策の検討 補助
委託
- 目 標／日常生活に不安のある方の生活課題への対応と支援を行います。
- 取組み／福祉サービス利用援助事業の実施
生活支援員の拡充と資質向上
成年後見制度利用促進法に基づく情報把握

5. 生活課題の把握と生活課題に向き合う団体の活動支援 宇治 補助 歳末 赤い
社協 委託 募金 羽根
- 目 標／団体の運営支援を通じて団体運営の課題、ニーズを把握します。
- 団体の活動支援を通じて、当事者の生活課題や地域課題を把握します。
- 取組み／赤い羽根コラボ助成や各種民間助成金を通じた団体との連携、情報共有
NPO や市民活動団体等と連携した生活相談への対応

6. 生活困窮者自立支援事業における学習支援事業の取組み 補助
委託
- 目 標／中学生の学習習慣の定着を目指した支援を行います。
- 若年層への地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくりに生かします。
- 取組み／週2回の学習支援事業の実施

7. 宇治市共同募金委員会との協働による社会や地域の実情に応じた活動支援 赤い 歳末
羽根 募金
- 目 標／共同募金運動への協力を通じて寄付文化の醸成を図ります。
- 取組み／共同募金や歳末たすけあい募金が地域の実情に応じて有効活用されるよう、情報発信に協力するとともに、当会が把握する地域課題やニーズ、資金需要を宇治市共同募金委員会と共有します。
- 宇治市共同募金委員会との協働により、新たな募金運動のあり方を検討します。

第3章 法人運営及び財務運営の強化

社会福祉法人としての法人運営の強化を図るとともに、当会活動の広報周知に努めます。また、地域福祉を展開していくために必要な財源基盤の強化として、従来からの会員募集や自動販売機の設置拡充を図るとともに、積極的な助成金の活用や遺贈等の働きかけ等、新たな財源確保の方法に取り組めます。

1. 時代に即した法人運営の強化 宇治
社協
- 目 標／時代に即した社会福祉協議会の運営を進めます。
- 取組み／三役会の実施
理事会の実施
評議員会の実施
定期監査の実施

2. 財源づくりの強化に向けた取組み **宇治社協**

- 目 標／収支バランスなど、今後の適切な法人運営に向けた財源のあり方を検討します。
- 取組み／積極的な会員（住民会員、事業所会員、施設会員、団体会員、賛助会員）募集の呼びかけ
- 1㎡でできる社会貢献事業（収益事業）による飲料用自動販売機設置の拡充
- 寄附金の受入れと基金の適正運用
- 遺贈等の積極的な受入れ

3. 多角的な広報の取組み **宇治社協** **赤い羽根** **歳末募金**

- 目 標／地域福祉活動や地域課題を広く周知し、地域福祉への関心を高めます。
- 取組み／広報紙「社協だより」の発行や事業ごとのPRチラシ、ミニ広報紙の活用
- 洛タイ新報への掲載による「月イチうじピョンの〇〇な話」の連載
- ホームページの刷新による情報発信の強化

4. 人材育成の取組み **宇治社協**

- 目 標／社協役職員としての資質向上を図ります。
- 効率かつ効果的な福祉実践への専門性の強化を図ります。
- 取組み／役員・職員研修の実施
- 各種研修会の情報提供と参加調整

5. 宇治福祉まつり検討委員会の開催 **宇治社協**

- 目 標／地域福祉の推進を図る取組みとしての福祉まつりのあり方を検討します。
- 取組み／宇治福祉まつりの意義や今後のあり方についての継続協議

6. 宇治市総合福祉会館の管理運営 **補助委託**

- 目 標／地域福祉活動の拠点として市民に活用してもらいやすい施設運営を行います。
- 取組み／宇治市総合福祉会館の管理
- 老人福祉センターの運営
- 利用者アンケートの実施